

知っているようで知らない

「ID と パスワード」



アリババと40人の盗賊より

インターネットを使って料理のレシピなんかを調べていると、気にすることは無いんですが、買い物をしたり、コンサートやスポーツのチケットを購入しようとするとき、よく出てくるのが、「【ユーザーID】と【パスワード】を入れてください。」っていう画面ですね。たとえば、あるショッピングサイトで買い物をしようとするとき、「会員の方は、IDとパスワードを入力してください。」となって、何のことやらわからなくなってしまい、買い物をやめてしまうっていう人が、実に多いんです。

今回は、インターネットをはじめ、大事なデータを守る機能を持った「IDとパスワード」について、簡単に説明します。

コンピュータを利用する際には、「気楽にインターネットで音楽でも聴こう。」とか「映画を見たい。」なんていう、誰かに見られても、そんなに問題ではない場合と、仕事などで、大切な顧客情報などを扱うなど、外に漏れてはいけぬ情報を取り扱う場合がありますね。

こんな時にデータを守るために、特定の人物以外がデータを見ることを出来ないようにしたり、システムへのアクセスを制限したりするなどの、セキュリティー対策が必要になります。ここで使用するのが、【ユーザーID】と【パスワード】です。

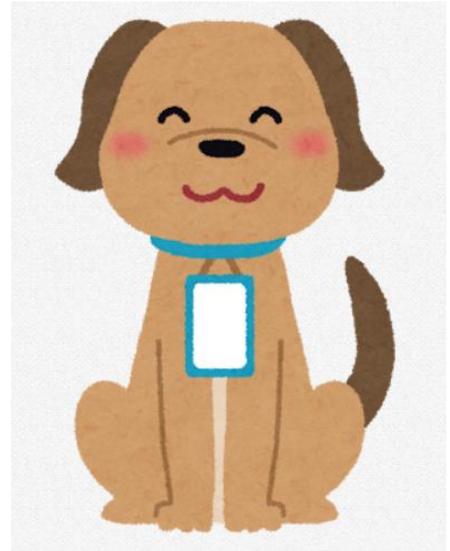
もう少し、ひらたく言うと、忠臣蔵では「山」といえば「川」と返すことで仲間と認識しますし、風の谷のナウシカでは、次のようになります。



「風の谷のナウシカ」より

【ID】（Identifier）

iDとは、コンピュータの管理者（または利用者 user）を、一意に識別するためにつける名前のようなものです。つまり、一人に一つのIDを割り付けることで、正式な利用権限を持った者かどうかの判断ができるようになります。



【ユーザーID】（User Identifier）または（Unique Identifier）

コンピュータのシステムや買い物サイトなどの、特定のサービスに利用者登録（アカウント作成）をするときに、登録（設定）する利用者名（ユーザー名／アカウント名）のことを、UID（こちら、サイトによってはIDと呼ぶ場合もあります。）といいます。

このUIDには、利用者自身の氏名やメールアドレスが使われることが多いのですが、本人が任意に設定するニックネームや、英数字の組み合わせなどが使われます。



【パスワード】（password）

利用者（user）が、正規の利用者本人なのかを確認するために利用する「秘密の合言葉」です。ID登録時（ユーザーアカウントを作るとき）に同時に登録しておきます。そのうえで、認証時に設定したものと、利用時に入力した文字（パスワード）が一致すれば、登録された利用者本人に間違いないとみなされて、サービスの利用ができるようになります。

パスワードに利用できる文字の種類や長さ（文字数）は、それぞれのシステムによって定められていて、半角のアルファベット（大文字・小文字を区別して使えます）・数字・一部の特殊記号を組み合わせたものです。

パスワードと同じ秘密の情報を入力させる仕組みのものには、数桁の数字の組み合わせを入力させる暗証番号（PIN：Personal Identification Number）や、単語をいくつか組み合わせるパスフレーズ（passphrase）などもあります。

これらのIDやパスワードは、大切な情報を守るキーなので、他人に知られてはいけません。

また、IDとパスワードは忘れないようにしっかり覚えておいてください。

「IDとパスワードを忘れるねん。」ってということで、紙に書いてパソコンの画面に貼り付けているのを見かけることがありますが、**これではパスワードの意味がありませんね！**



パスワードの割り出し

パスワードを他人に知られてしまうと、他人にシステムを利用されてしまいますので、誰にも知られないようにしてください。

ただし、不正利用しようとする側（攻撃者）は、システムに侵入するためにパスワードの割り出しを試みる場合があります。なので、誰にも教えていないはずのパスワードが、攻撃者に入手されてしまうことがあります。

パスワードを知るために、「総当たり攻撃」（ブルートフォースアタック）や、「辞書攻撃」（ディクショナリアタック）などを行うことが多く、これだけでもシステムには結構な負荷がかかります。

最近ではパスワードを連続で3回間違えたら、アカウントがロックされて利用できなくなるようにしている場合もあります。



これらのパスワード攻撃手法では、パスワードそのものの文字数が、短くて覚えやすいもの（普通の単語の組み合わせ）ほど割り出しやすいことが知られています。

なので、パスワードは覚えられる範囲で、「なるべく長く、様々な文字種（大文字・小文字・数字・特殊記号）を組み合わせで作成」することを推奨しています。

できるだけ、意味のある言葉（単語）や、覚えやすい単純な文字の並び（「password」「123456」など）などは避けておきましょう。

また、本人や家族の氏名・生年月日・電話番号・ペットの名前などの、本人についての様々な間接情報から、パスワードの候補を生成する攻撃手法もあるので、自分や家族に関連する情報を組み合わせない法がいいですね。

以上、IDとパスワードについてのご案内でした。

コンピュータウイルスに感染したかな？ と思ったり、
コンピュータの動きがおかしい場合お気軽にご相談ください。